令和７年６月２０日（金）、玉江小学校にて伊敷中ブロックの小中連携研修会を行いました。授業参観後、分科会にて連携を図りました。
各分科会でワークショップを行い、活発な話し合いが行われました。話し合われたことや共通実践事項について紹介します。

【第一分科会「確かな学力の育成」～活用力育成に向けた指導法の工夫～】

◯話し合われたこと

・見通しがもてない児童生徒が多い。　　・基礎基本の定着
・家庭学習に対しての家庭の意識の差　　・協同学習と一斉学習のバランス
・学習に向かう姿勢

◯来年度に向けて

新テーマ「学習規律の定着および主体的な学びをする児童生徒の育成」
→ふりかえりをみせる授業の提案（来年度の伊敷中での授業参観）
・視点をもって授業を参観できるように
・学習規律をさらに整えていくことで９年間を通した定着を図れるのでは。
・それぞれの学年の発達段階に応じた学習規律。

新しいテーマのもとで、学習規律や主体的な学びについて検討していくことができたら、さらに充実したものとなるのではないか。

【第二分科会「生徒指導の充実」～積極的な生徒指導の視点に立った取組～】

◯話し合われたこと

・児童生徒のコミュニケーションの様子と課題
・いじめ、冷やかし、からかいへの対応
・タブレットの使用とノーメディアデー
・ネットスリープ宣言の見直し
・整理整頓、環境整備について

〇共通実践事項

１　相手の目を見て挨拶をする。
２　自分の持ち物の管理・整理整頓をしっかりする。
３　ネットスリープ宣言の見直し（メディアとのかかわり方を含む）

【第三分科会「特別支援教育の充実」】

◯話し合われたこと

・交流学級担任との連携について　　・個人差に対応した指導のあり方

・子供間の人間関係について　　・中学校進学に向けた学力の定着の度合い

☆　３校の特別支援教育を充実させるために、小・中学校３校間の垣根を払い、お互いに気軽に情報交換を継続して行っていくことが必要である。

【第四分科会「特別活動（児童会・生徒会）の充実」

～各校の取り組みを通して児童・生徒の活発な活動についての工夫～】

◯話し合われたこと

・児童・生徒の主体性の引き出し方（リーダーの育成、ボランティアへの取組）

・積極的な話し合い活動を目指した手立ての工夫

・児童・生徒が主体的に関われる集団づくり、組織・体制づくりのあり方

〇共通実践事項

１　「きく（聞く・聴く・訊く）」ことを意識した特別活動の取組

２　児童・生徒に‘当事者意識’を持たせて、取り組ませる。

※　上記の四分科会以外に、外国語科部会と養護教諭部会を行い、それぞれ有意義な情報交換が行われました。